

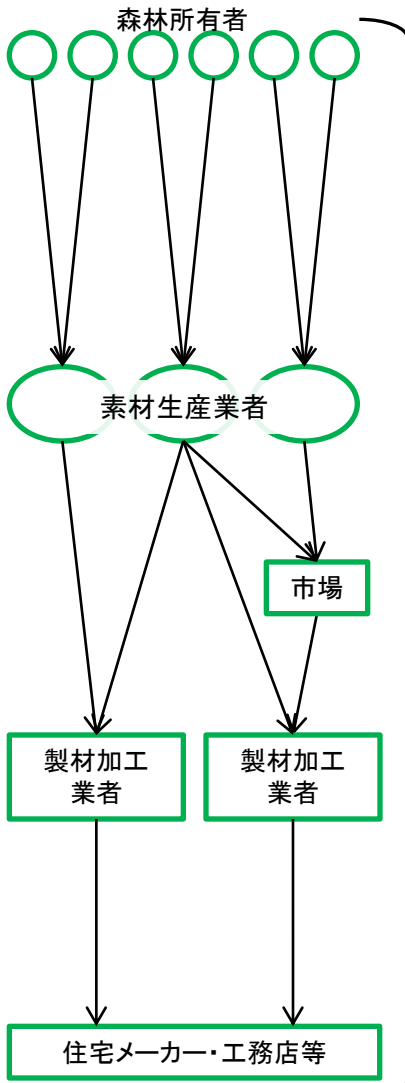
平成29年度 森づくり部会 取組結果 「新しい地域の組織」の概要

現状

将来

川上

- ・集約化
 - ・境界明確化
 - ・森林経営計画
 - ・作業道
 - ・森林施業
- 各事業体毎に実施



- 素材生産の課題
- ・森林所有者の生産意欲の喚起
 - ・集約化された事業地の確保
 - ・主伐・再造林の促進

川中

- 加工流通の課題
- ・木材の安定確保・供給(量、規格、時期)

川下

新しい地域の組織：法人化

目的：川上から川下が連携、参画した組織を設立し、地域の森林を一元管理する
集約化等の各種工程や事業管理コストの低減を図り、川上から川下が連携した木材生産、木材利用をすることで、生産性・採算性の向上を図り、山元の利益還元を増加と木材の安定供給を図る。

- ・市町村から報酬を支給することで公平性を保つ(準公務員化)
- ・社会的地位の確立、明確化

構成員：市町村
地域森林監理士
森林組合等の素材生産業者(森林施業プランナー)
木材流通業者
製材加工業者
林野庁や県職員のOB

森林環境譲与税

課題克服のための業務内容

- ・森林資源の把握
- ・集約化(森林所有者への丁寧な説明)
- ・森林経営計画の作成
- ・森林信託の導入による長期的、安定的な施業地の確保
- ・森林施業の会員(素材生産業者等)への発注
- ・木材需給情報の共有
- ・木材価格の交渉

効果

- ・森林資源の循環利用(主伐・再造林の促進)
- ・木材の安定供給と価格の安定化